

「広報」



ちふ



2012

8

vol.193

- 2・3 平成24年度施政方針
- 4 平成24年度一般会計当初予算
- 5 知夫村行政機構図
- 6 議会だより
- 7 知夫中学校・辰巳会修学旅行
- 8・9 小・中学校新1年生紹介と新任教職員ごあいさつ／教育委員会だより
- 10 村の話題
- 11 戸籍コーナー／新入職員紹介
- 12 野大根祭り／隠岐地区共進会

小さな島 みなファミリー 知夫里島

知夫里の冬から春、
そして夏

施政方針



知夫村長
矢田 辰夫

本日、第四百四十八回三月定例村議会の開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、村政運営の考え方と平成二十四年度の主要な施策の概要について申し述べさせていただきます。

はじめに

昨年、三月十一日発生 of 東日本大震災、東京電力福島原発事故から、一年が経過いたしました。被災状況、復旧状況はテレビ、新聞で、ほぼ毎日、報道され皆様もご存知と思いますが、今尚、行方不明者の捜査が続き、復旧・復興の遅れが指摘されており、犠牲になられた方々の冥福を祈り、一日も早い復旧・復興を願うものです。

東日本大震災はその悲劇の中から我々に、様々なことを教えてくれました。それは「人間は一人では生きられない。地域で助け合い、支え合わなければ生きられない」こと、「親・兄弟・家族の大切さ、地域の人々の大切さ」などであり、そして、昨年一年間を象徴する言葉として、漢字一文字言葉に「絆」が選ばれました。現代社会が忘れてかかっていた、「人と人との繋がりが、結びつき、すなわち絆が如何に大切であるか。」ということ、を思い起こさせてくれました。

行し、高齢化率は四十五%に達しました。村内で完結できない事も沢山、抱えております。離島が故の不利な条件も沢山、存在します。まさに知夫村では助け合い、支え合わなければ生きて行けません。今こそ、住民協働社会の実現が必要であります。即ち、「住民、議会、行政が相互理解のもと役割分担の上、責務を果たす。」ことが重要であります。「人口減少、地域活力低下、閉塞感の広がりなど、負の連鎖を意識の上で断ち切り行政は基より、村民一人ひとりが地域経営的感覚とサバイバル自立精神を持って、自ら新しい時代を切り開く」と言う気構えを持つ事が何よりも大切であります。

私に残された任期は僅かでありますが、ここで気合いを入れなおして任期いっぱい村政運営に当たる所存です。どうか、皆様のご支援、ご協力をよろしく、お願いいたします。

国の予算等について

政府は、東日本大震災、原発

事故と電力制約、円高、世界的な金融市場の動揺といった新たな危機の中、平成二十三年十二月十六日に「平成二十四年度予算編成の基本方針」を閣議決定し、日本再生に向けて、東日本大震災からの復興、経済分野のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の五つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組む。併せて、地域主権改革を確実に推進するとともに、既存予算の不断の見直しを行うといわれています。

このような方針に基づいて編成された平成二十四年度の一般会計予算の規模は、九十兆三千三百三十九億円と前年度比二兆七百七十七億円、二・二%減となっております。地方交付税の総額は、十七兆四千五百四十五億円と前年度比八百一十一億円、〇・五%増とほぼ前年並みと確保され、今年度歳入財源の七十%を占める知夫村にとってはひとまず安心と言ったところであります。

当初予算の概要について

平成二十四年度一般会計当初予算案の概要について説明いたします。

予算総額は、一、一七六、二一七千円とし、平成二十三年当予算より七五、〇四〇千円、率にして六・八%の増額予算となつていますが、主な要因といたしましては、次期内航船建造負担金五一、三〇〇千円、ジェットフォイル整備事業負担金一

三、四〇〇千円、ハード事業の「村道扇畑線改良工事」や「ふれあい広場整備事業」として三三、二二二千円等でございます。

歳入

歳入におきましては、村税は対前年度比四・七%減の四二、八六三千万円を計上しております。固定資産税評価替えに伴う減及びたばこ税の減額を想定して減り、引続き収納率一〇〇%を目指して村民への納税意識の向上を図りながら収納に努力いたします。

地方交付税は、普通交付税が対前年度比二・八%増の六八二、〇六三千万円を計上しておりますが、基準財政需要額に新たに地域経済・雇用対策費が九四、三八四千万円算入されたことが主な要因です。特別交付税二〇、〇〇〇千円及び臨時財政対策債二六、四九八千万円を合わせ交付税は八二八、五六一千万円で歳入予算の七〇%を占めています。

県補助金が対前年度比三三、五三一千万円、率にして四四%の減額であります。昨年実施した漂着ごみ対策事業補助金及び土木費、農林水産業費の雇用対策事業県補助金の減額が主な要因です。

予算編成による財源不足はなく、財政調整基金、減債基金等の繰入金はありませんが、知夫村過疎地域自立促進計画に基づき、過疎債ソフト事業実施のための基金繰入金として二、八〇〇千円を計上しています。その他、村債は過疎債の次

期内航船建造負担金、ジェットフォイル整備事業負担金や辺地債のハード事業による借入で対前年比一三・一%増となっております。

歳出

続いて、第五次総合振興計画の基本計画に基づき、歳出における主要な施策について申し上げます。

一、自然と調和した活力ある産業づくり

(一) 地域産業を振興する

畜産業を振興するため過去三ヶ年で三十頭の村有牛を購入し、畜産農家に貸し付けていますが、引続き今年度六頭購入し、優良な肉用牛の確保と生産者の生産意欲の向上を図るとともに、肉用牛の改良・増殖並びに後継者育成のため雌牛の貸付を行います。又、過疎債ソフト事業で雇用対策も含めた西牧の雑木除去の実施や昨年立ち上げた「産地収益力向上支援協議会」で販路拡大の活動や改良に向けた研修会の開催などを実施し、畜産農家の所得向上と経営の安定化を目指します。

その他、JAへの牧野管理委託や家畜市場輸送事業に対する補助、今年度知夫村で開催される畜産共進会出席についても引き続き助成いたします。

水産業を振興するについては、水産資源の減少、魚価の低迷、燃料高騰など依然として厳しい状況に変わりありません

が、離島漁業再生支援交付金事業による交付金を活用した事業計画策定等を漁業集落会員に検討していただき、水産業の振興を図るとともに、いわがき養殖やヨコワ漁、板ワカメ生産など引き続き漁協や関係機関と連携しながら漁業生産額増のために取り組んでまいります。

観光を振興するために、過疎ソフト事業や県の雇用創出事業補助金を活用し、村の魅力を伝える観光ガイドを養成するための事務賃金や赤ハゲ山周辺等の観光地道路清掃を実施します。それと牛の海泳ぎ事業の委託と交流促進のため活性化協議会に助成金を出し、野大根祭り等のイベントを実施いたします。又、ホテル知夫の里についても今年度も外壁の改修やホールエアコンの取り替えを行うなど施設整備を図り、利用客の快適性を向上させ引き続き集客の増加と黒字経営に努めていきたいと思っています。

昨年九月に開かれた日本ジオパーク委員会において、隠岐ジオパークが世界ジオパーク国内候補地に決定し、十二月に世界ジオパークネットワークへ申請書を提出いたしました。この秋には、その加盟認定が待たれるところでありませう。

知夫村においても、案内板や説明文などの整備を行います。今後、隠岐ジオパークの魅力を伝えるために地域のガイド養成などにも取り組んで行かなければと思っています。

二、安全安心で快適な生活環境づくり

(一) 生活環境を整備する

地域交通網を改善するについては、海上交通の島前三町村間の通勤、通学、通院の利便のための内航船「いそかぜⅡ」の後継船を建造いたします。また、来居港の改修やバリアフリー設計のターミナル施設整備についても引き続き島根県と協議検討いたします。

村内交通の委託バスや診療所帰宅便について、高齢者や観光客、帰省客の利便を図るため議会と協議しながら方向性を検討していきたいと思っています。

ホテル知夫の里へ繋がる村道扇畑線拡幅改良や橋梁の松下橋、代宮橋、古海浜橋三ヶ所の詳細調査設計委託や地区要望のありました村道の維持補修等を実施いたします。

高速艇「ちぶ」についても運航委託の方向で実施したいと考えて予算計上しています。

上下水道の機能を維持するために、簡易水道の郡浄水場送水管・ポンプ制御盤更新工事を実施し、水道施設の効率的な維持管理に努め安定した水道水の供給を行います。又、下水道についても中継ポンプ場通報装置の取り替えを実施し、施設整備機能の維持に努めます。

地域の防災機能を強化するについては、東日本大震災の津波被害等を教訓に島根県の指導を受け新たな「地域防災計画」の策定するとともに、災害などの危険箇所や避難路、避難場所

の周知を図るため「ハザードマップ」の作成や災害時の備蓄食料として、長期保存できる乾パンや水の購入を行い緊急時に備えます。

(二) 保健・福祉医療を強化する

村民の健康福祉を増進するについては、「健康長寿ちぶ二十一推進計画」の十ヶ年計画策定の最終年度となりましたが、村民の健康づくり推進と疾病予防のための講演会の開催や各種健康診断、がん検診等について引き続き実施してまいります。又、本土等の医療機関に受診される場合の交通費、医療費、健康診査費についても、村民の経費負担を軽減するために各種支援に関する要綱等に基づき、支援いたします。

四月から新たに保健師一名を採用し、健康相談、育児相談など子育て支援の充実や生活習慣病など、村民の健康づくりを推進いたします。

医療の体制を充実するために、全国的に医師、看護師など医療スタッフの不足が叫ばれる中、離島の人口六〇〇人余りの我が知夫村においても診療所運営におけるスタッフ確保に苦慮しているのが実情であります。医師は県の地域医療支援制度により守られています。看護師確保に一昨年から苦慮しています。が、三百六十五日無休で毎日の急患対応、薬の調剤、外来診療業務等を二名で行っていますが、土日の急患待機業務などの煩雑さを軽減するために受付を含めた看護師三名体制を目指して確保に努力したいと考えています。

歯科診療所につきましては、鳥取大学医学部歯科口腔外科に引き続きお願いしたいと考えています。

三、豊かな心と人間性を育む人づくり

子どもの教育環境を充実するについては、現在総合的な学習、ふるさと教育を中心とし体験することによって、ふるさとを愛する気持ちを育てるとともに、地域の担い手となる人づくりをめざします。

そのためには、あざみ掘り、漁師体験、畜産体験等様々な事業を体験させ、そのなかで自らが学びとて行けるよう工夫をしてまいります。又、学力向上のために平成二十四年度から小学校はソロバン、中学校は漢字、英語等マスターすべき検定の実施と複式学級の不利を補うため算数、理科につきましては、今年度から臨時教員を新たに配置したいと考えています。

生涯学習・スポーツを推進するは、生涯学習教育の一環として、家庭教育、人権同和教育、道徳的な教育を身につけるための講演会の開催、地域住民のふれあう場所としての映画鑑賞や、ものづくり教室、各地区に設置された地域図書の実施を図るとともに、健康増進、相互間の親睦のための、体育祭、スポーツ講演会等を開催いたします。

伝統文化を保存継承するは、年々廃れて行く村の歴史、郷土芸能を後世まで残すべくDVDの作成や中学生を対象とした民

謡教室の実施、一宮神社大祭りの子ども歌舞伎の白波五人男を継承すべく衣装の作り直しを行い、今後とも後継者育成に努めてまいります。

その他

今後の財政の動向については、今年度も交付税は見通しが明るいようですが、平成二十五年度以降厳しい財政運営が予想されるかどうかわかりませんが、国の地方財政計画を注視しながら村の「中期財政計画」の数値見直しを行い行財政改革に取り組みながら健全財政化に務めるとともに、現行制度のU・Iターンの転入者に対する住宅改修支援事業や産業振興を図るための生活支援事業についても引き続き実施いたします。

以上、平成二十四年度の村政運営に関する所信及び主要な施策の概要について述べさせていただきましたが、第五次知夫村総合振興計画の新たなメインテーマである「活力ある住みよい島・知夫村」の実現にむけて取り組んでまいりたいと思います。

議員の皆様、また村民の皆様方におかれましては村政発展のため一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当初予算の詳細や提出議案につきましましては、担当課長に説明させていただきますので、慎重にご審議いただき、適切なご決定を賜りますようお願い申し上げます。平成二十四年度の施政方針といたしまして、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成24年度一般会計当初予算

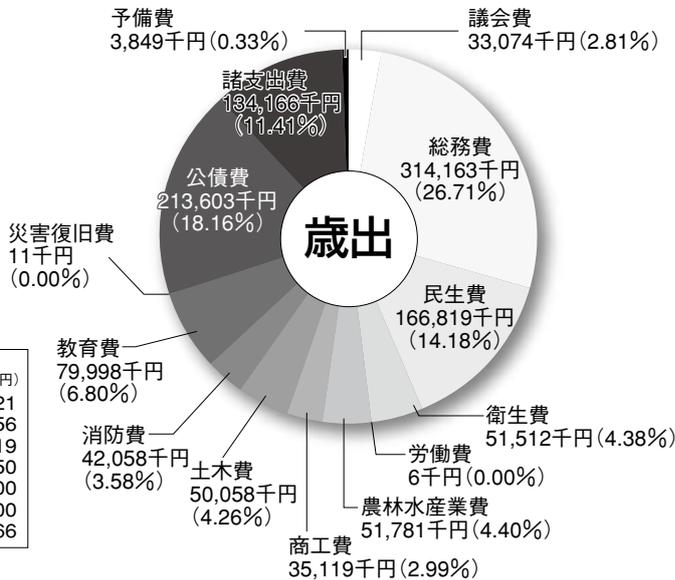
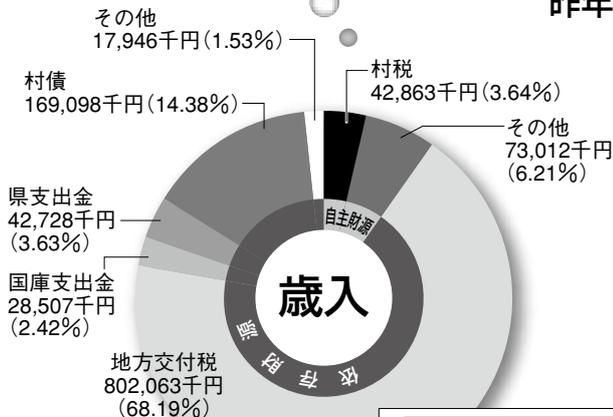
11億7622万円

昨年度より7,504万円の増

自主財源
わずか
9.85%

●村民1人当たりの歳出予算額
195万4千円
●村民1人当たりの借金の返済額
355,000円

4月1日現在
人口 602人



「自主財源その他」の内訳 (千円)

分担金及び負担金	14,221
使用料及び負担金	17,356
財産収入	519
寄付金	550
繰入金	12,800
繰越金	10,000
諸収入	17,566

「依存財源その他」の内訳 (千円)

地方譲与税	10,401
利子割交付金	180
配当割交付金	50
株式譲渡所得割交付金	15
地方消費税交付金	5,000
自動車取得税交付金	1,500
地方特例交付金	800

【目的別の歳出内訳】

- 議会費 33,074千円**
議員・事務局職員人件費、議員共済費など
- 総務費 314,163千円**
一般・人事・財産管理・消防・企画・徴税・広報・選挙・統計・開発センター等
- 民生費 166,819千円**
社会福祉・高齢者社・国民年金・児童福祉・保育所・戸籍・乳幼児医療など
- 衛生費 51,512千円**
衛生総務・生活習慣病対策・母子保健・環境衛生・ゴミ処理・し尿処理など

- 農林水産業費 51,781千円**
農業委員会・畜産・農業振興・林業・水産振興など
- 商工費 35,119千円**
商工振興・観光・公園・定住対策・地域おこし・事業創出など
- 土木費 50,058千円**
土木・道路新設改良・維持・河川管理・港湾管理・住宅など
- 消防費 42,058千円**
非常備消防・水防・消防施設維持など
- 教育費 79,998千円**
教育委員会・学校管理・教員住宅・社会教育・文化財保護・公民館など
- 公債費 213,603千円**
村債(借金)の元金・利子の返済・一時借入金利子など
- 労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費 138,032千円**
雇用対策・中小企業・道路、河川の災害復旧・基金への積み立て・不測の支出に備えての費用など

国民健康保険特別会計	121,438千円
診療所事業特別会計	91,766
歯科診療所特別会計	21,685
後期高齢者医療特別会計	18,947
簡易水道特別会計	63,819
下水道特別会計	76,150
計	393,805

- 主な事業
- ふれあい広場整備 23,067千円
 - 扇畑線拡幅改良事業 10,145千円
 - 離島漁業再生支援事業 9,248千円
 - 学校体育館修繕事業 5,792千円

二、上記各種会計予算の適切な執行により、村の指標である「活力のある住みよい島・知夫村」への前進が実感出来るよう、村長及び職員のご努力を期待します。

す。基金を取り崩すことなく予算編成ができた努力に対し深く敬意を表します。



予算審査
特別委員長
高田 武

予算審査報告

一、平成二十四年度各種会計予算総額は、ジェットfoil整備負担金、次期内航船建造事業負担金等により昨年度より、七六、七三六千円の増額となりましたが、村長、職員が一体となって、経費節減等、財政運営の効率化に努め、六年連続で基金を取り崩すことなく予算編成ができた努力に対し深く敬意を表します。

知夫村行政機構図

村 長 矢田 辰夫

副村長 渡部 信行

教育長 隠木 哲朗

(平成24年 4月 1日)

所属分担	係 名	職 名	氏 名	主な事務分掌
総務課	庶務係	課長	田上 俊	課統括事務
		係長	高田 英治	庶務一般、給与、共済、監査
	税務財政係	主事	徳田 久志	消防、統計、交通安全、情報
		課長補佐	安藤 晋治	固定資産税、税務財政
村民福祉課	福祉係	課長補佐	川本 博樹	村民税、税務財政
		課長	小浜 清人	課統括事務、福祉事務所長兼務
		係長	崎 博一	福祉事務所関係事務、介護
	保健衛生係	主事	村尾 真和	福祉事務所関係事務、年金、後期高齢者医療
		課長補佐	山本 久美子	保健師業務
	戸籍住民係	主任主事	崎 慎吾	国保、診療所事務、衛生一般
建設課	管理係	保健師	橘 知佳	保健師業務
		主任	番谷 美穂	戸籍関係事務、旅券事務、保育所
	建設係	課長	福山 孝行	課統括事務
地域振興課	農林水産係	係長	古谷 光教	下水道、環境、廃棄物、建設一般
		主任主事	西谷 太介	下水道、環境、廃棄物、簡易水道
	定住交流室	課長	平木 伴佳	課統括事務、農委事務局長兼務
		獣医師	野田 浩正	獣医師業務、農業共済
内科診療所	農林水産係	係長	奥本 重勝	農林、水産、第3セクター
		主事	福山 直人	農林、水産
	定住交流室	係長	渡辺 智彦	定住、交流、観光
		所長	山本 長晴	診療所統括（7月1日より）
歯科診療所	農林水産係	主事	徳若 朋子	診療業務
		看護師	永谷 マリ	看護業務
	保育所	臨時職員	西田 弘子	看護業務
		所長	永見 琢真	歯科診療所統括
教育委員会	保育所	臨時職員	松下 絹衣	歯科助手
		臨時職員	山根 いづみ	歯科助手
	教育委員会	所長	小浜 清人	兼務
		保育士	田中 シマ代	保育士業務
		保育士	宮本 厚子	保育士業務
議会事務局	保育士	隠木 千秋	保育士業務	
	保育士	西村 清芳	保育士業務	
	教育次長	村尾 達子	委員会統括事務、給食センター所長兼務	
観光案内所	主事	浜本 洋平	生涯学習、学校教育、開発センター	
	社教主事	藤住 亨	島根県より派遣	
出納室	指導主事	手銭 俊夫	島根県より派遣	
	事務局長	崎 秀政	選挙管理委員会事務局兼務、広報	
出納室	事務局長	山本 英樹	観光案内所統括	
出納室	会計管理者	影原 知明	出納事務	

郡地区の道路が新しく出来ました。

県道知夫島線の交差点改良工事に伴い、仮設道路として利用されていた道路が6月議会で村道郡浜線として認定されました。来居地区から海岸への通行が便利になりました。

地権者をはじめ工事関係者の方々に感謝いたします。



▲海岸方面より



▲来居方面より

議会だより 議会活動の活性化を目指して

活動報告

知夫村議会は、島根県町村議会で、唯一の村議会で、真の住民の負託に答える議会のあり方と活性化を目指して活動の中、平成二十三年十二月から平成二十四年七月まで取り組んだ議会活動及び審議結果を報告します。

十二月定例議会概要

第一四七回平成二十三年十二月定例会は十二月十五日一日限りの会期で行われ、条例の一部改正一件、規約の一部変更一件、補正予算五件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決し一日間の会期を閉会した。一般質問では、

- 一、東日本大震災を教訓とする防災対策について
 - 二、公共放牧場の整備耕作にトラクターの導入
 - 三、活性化協議会の婚活活動について
- それぞれ村長の所信を問いました。



井尻議長(左)、向濱副議長(右)

三月定例議会概要

第一四八回平成二十四年三月定例会は三月十二日から十五日まで四日間の会期で行われ、人事案件二件、条例の一部改正十件、条例制定一件、議決案件一件、指定管理者の指定一件、補正予算七件、当初予算七件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決承認、同意し四日間の会期を閉会した。



六月定例議会概要

第一四九回平成二十四年六月定例会は六月二十八日一日限りの会期で行われ、条例制定一件、条例の一部改正四件、規約の一部変更一件、村道の認定一件、村道の変更一件、専決処分五件、報告一件、補正予算四件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決承認し一日間の会期を閉会した。一般質問では、向濱議員が、

- 一、一宮神社境内空地に公衆トイレの新設設置について
- 二、任期満了の迫った矢田村長の再選立候補の所信について
- 三、定任推進について

それぞれ村長の所信を問いました。

高田議員が、

- 一、東牧の牧柵について
- 二、タヌキ道場について

高田議員が、

- 一、矢田村長の任期満了による再選立候補の所信について
- 二、特別職及び議会議員の報酬改定について

それぞれ村長の所信を問いました。

皆様の声をお聞かせください

知夫村議会は、活力ある村づくりをめざして、毎月、全員協議会等を開催して、村の活性化対策について、協議、検討を行っています。村内に八名の議員がおりますので忌憚のないご意見をお聞かせください。村づくりに活かしたいと思います。



井尻議長



向濱副議長



知夫中学校・辰巳会 修学旅行

知夫中学校は、6月25日から29日まで4泊5日で沖縄へ、辰巳会は、6月9・10日の2日間京都へ修学旅行を行いました。

知夫中学校

「命ど宝」

平和学習、自然や歴史文化の学習、社会的マナーの実践、思い出づくりの四つをめあてて実施しました。見学地は、アブリラガマ、ガラス工場、ひめゆりの塔、平和の礎、国際通り、語り部による学習、首里城、佐喜間美術館（普天間基地）、黒糖工場、琉球村、万座毛、美ら海水族館でしたが、天候に恵まれたこと、生徒たちが時間をしっかりと守ったことにより、全ての日程をスムーズに行うことができました。

今回の修学旅行でよかったことは、平和学習での生徒の真剣さです。二日目は、まず約四十分、暗いガマの中で説明を聞きながら、当時の様子を想像しました。制服に着替え、ひめゆりの塔や平和の礎に参拝し、夜は語り部の話に耳を傾け、



生徒の感想

三年 宮岡 将司



僕は修学旅行で沖縄に行き、たくさん思い出を作ることができました。僕たちは二日目にアブリラガマに行きました。僕はこれまでに戦争については体験した人の話や、その時の映像でしか知りませんでした。ですが、実際に戦闘が行われた場所に行き戦争の本当の恐ろしさを知ることができました。暗くて水の落ちる音しか聞けない洞窟で三日月も暮らしているのは相当辛いことだろうと思います。それに真上には米軍がいていつ殺されるかわからない状況です。そして、そんな中でも数名生き残っていることに驚きました。アブリラガマにいき、戦争は二度とほい



すべての生徒が始めと終わりに自分の思いを発表しました。三日目は、佐喜間美術館の館長さんの話を聞いて、戦争が終わっても米軍基地によって犠牲を強いられている現状を学びました。また、予定にはなかったのですが、琉球舞踊を教えてください。ださった「おばあ」の戦争体験も聞くことができました。全員がしっかりとメモをとっている場面もありましたし、学習後に「自分にお礼のあいさつを

二年 川本 和伽

私の修学旅行の思い出は、首里城に行きました。沖縄を代表する文化財の一つとてもきれいで壮大でした。中も当時は復元してその時の文化などを知ることができました。当時の役人や女官の格好も見ることができてよかったです。敷地はとても広くまだ入れないところもあるのでいつかまた入れるときに首里城に行つて、今度はじっくりみたいです。人数アブリラガマも印象に残りました。中は真っ暗で足場も悪く涼しかったです。ガイドさんが「沖縄戦の時多くの人がここで三日月も暮らしていました。」と言っていてとても驚きました。当時は洞窟のほうが安全と聞いて私はこんな暗い中で三日月も暮らすなんて想像もつきませんでした。ガイドさんのたくさん話を聞いて、改めて戦争の怖さを知りました。二度と戦争はあってはならないものです。修学旅行で学んだことを忘れないようにしたいと思っています。

辰巳会

「還暦修学旅行」

「させてください」とお願いしてくださる生徒もどるほどでした。沖縄の人々がよくいう「命ど宝」にこめられた思いをしっかりと受け止めることができたと思

辰巳（昭和二十七・二十八）年生まれの我々同級生は、同窓会を兼ねて京都へ還暦修学旅行へ出かけました。

関西地区を中心に、東は神奈川県、西は山口県、南は香川県、北は知夫からと、遠方組も含めて男性十一人・女性十人、合計二十一人の参加でした。

◆一日目 中学二年の四月以来、昔巡った京都の観光名所を四十数年振りにみんまで再訪問しました。①西本願寺②二条城③金閣寺④清水寺

小雨模様でしたが、世界文化遺産の神社仏閣が木々の緑にしっかりと映え爽やかで清々しい見学となり、心を洗われました。

宿舎での大宴会後、ホテルのラウンジを貸切つての「カラオケ大会」



兵庫高砂市立
竜山中学校 校長
木下 孝

ます。社会的なマナーもしっかり実践でき、一人も事故や病気がなく、無事に修学旅行を終えることができました。

では、歌と踊りで大いに盛り上がり、店のマスターたちもあきれ顔でした。

◆二日目 ①平安神宮②銀閣寺を散策した後、京都駅で解散しましたが、名残りがつきず、食事しながら二・三時間も話に花を咲かせました。

四十五年間の時空を超え、故郷「知夫」を思い出しながら、人生の大きな節目である「還暦祝い」を修学旅行という形で実現できましたこと、幹事として本当に嬉しく思っています。

幹事

祝 入学 ようこそ 知夫 小・中学校へ 新1年生紹介

野田穂佳さん

- ①カップラーメン
- ②ブランコ
- ③音楽
- ④AKB48



下廣夏南斗さん

- ①カレーライス
- ②サッカー
- ③体育・音楽
- ④野球選手



小新大地さん

- ①ラーメン
- ②立ち乗りブランコ
- ③音楽・国語・体育・算数
- ④整体師



- 小学1年生へインタビュー
- ①好きな食べ物
 - ②楽しい遊び
 - ③好きな勉強
 - ④大きくなったら何になる？

奥本菜瑠海さん

- ①ラーメン
- ②ブランコ
- ③算数・国語
- ④AKB48



高田 藍さん

- ①かにグラタン
- ②ブランコ
- ③算数
- ④AKB48



山本想良さん

- ①かにグラタン
- ②サッカー
- ③全部
- ④野球選手



中学1年生には決意を発表してもらいました。

徳若亜未さん

私は中学生になって、部活や勉強を頑張りたいです。部活では、まだ上手くできない事がたくさんあるけど、一生懸命頑張って、2、3年生に迷惑のかからないようにしたいです。勉強では小学校とは違う所がたくさんあって、量も増えると思うけど、自学などを頑張って、苦手な事を減らせるようにしたいです。



濱 拓人くん

僕は中学生になってしまいました。入学式当日、2階の5・6年教室に行きかけました。中学生になり、部活の毎日です。帰るとすぐ風呂に入り寝たくなります。(これ普通...)けど、勉強も頑張りたいです。これからテストや行事、たくさんの事があります。何事にも諦めず、やりとげられる人間になります。



高田 翼くん

僕は中学生になって頑張りたいことが二つもあります。一つ目は色々な行事です。これから、中学生の勉強が始まりだんだんと難しくなってきます。テストなどもあり、たくさん勉強しないといけません。でも、頑張りたいと思います。二つ目は部活動です。まだ、そんなに上手くありませんが、先輩方をよく見て頑張っていき、いい球が打てるようにしたいです。



学校での取り組み

知夫村教育委員会では、児童生徒が「生きる力」を身につけ、たくましさや自信を持って欲しいと願い、今年度から「基礎学力の向上」をめざした取り組みを進めています。

知夫小では、「そろばん学習」、知夫中では「漢字・計算ドリル反復練習」などに取り組んでいきます。継続して取り組むことによって、「基礎学力の向上」の他、集中力や忍耐力なども身につけていくと考えています。

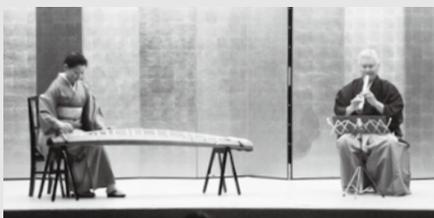


公民館の取り組み

知夫村公民館では、村民の皆さんにさまざまな学習や交流の機会を提供しようと活動を行っています。

○知夫夕凧コンサート

五月十九日(土)には、尺八や箏など和楽器による音楽鑑賞会を開催しました。尺八で山流を学ばれている郡地区の並河星山(孝成)さん他約二十名がステージに立ち、都山流のオリジナル曲や箏の代表曲「春の海」などの演奏に、観客約七十名が聴き入りました。





小学校／教頭
谷田 真也

今回の赴任で、隠岐の全ての島に一度ずつ赴任することができました。先日、20数年ぶりに赤はげ山に登り、360度のパノラマ風景に感動しきりでした。



小学校／1年担任
飯古久美子

子ども達の純真さや、地域の皆様の情の温さ、自然の豊かさに魅了されています。元気に頑張ります。どうぞよろしくお祈りします。



中学校／教頭
森脇 利明

知夫には初めてきましたが、毎日、桜などの草木の変化、鶯の大きな鳴き声に接するたびに、のどかでいいなあと思っています。学校では、素直な生徒達が笑顔で話しかけたりしてくれるので、やる気がどんどん高まって声も大きくなってきました。よろしくお祈りします。



中学校／教諭
のうみ あきみ
能海 観水

知夫に住んで5年になります。毎日居心地良く過ごさせていただいていることを本当にうれしく思っています。まだ赴任して間もないですが、子どもたちとふれあう中で日々温かい雰囲気を感じています。よろしくお祈りします。



中学校／教諭
福山 弘子

福井小学校から参りました。縁あって、3回目の知夫勤務となりました。慣れ親しんだ校舎、懐かしく美しい景色、素直な子どもたち、温かな地域の方々の中で、学校生活を送ることができるとてもうれしく思います。どうぞよろしくお祈りします。



中学校／教諭
河内 智成

知夫の風景や校舎、桜などとてもいいなあと思います。日々過ごさせていただいています。この恵まれた環境の中で育つ、知夫の生徒たちと共に成長していきたいと思っています。よろしくお祈りします。



中学校／教諭
須山 未紀

西ノ島中学校から赴任してまいりました。知夫での勤務は初めてですが、知夫の子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。



中学校／教諭
古木 秀典

この度の異動で、五箇中学校からきました。1年ぶりに知夫に来て、生徒たちがとてもたくましく成長している姿にびっくりしています。私も、生徒たちに負けないよう頑張っていきますのでよろしくお祈りします。

隠岐ジオパークでの取り組み

知夫村教育委員会では、隠岐ジオパーク世界認定に向けて学習会を行いました。オキタンポポの調査会には小学生や保護者など十五人が参加し、オキタンポポの分布や化石を調べるフィールドワークを行いました。また、一般村民や役員職員を対象とした学習会には三十五人が参加し、隠岐の貴重な動植物や地質について説明を聞きまし。多くの方に参加していただき、隠岐や知夫を新しい角度で見ることによって新しい発見や大切な資源等について学ぶことができました。もっと多くの方に知夫の事を知っていただくために、これからも隠岐ジオパーク活動を行っていきたいと思っております。



○第一回 知夫里島ふれあいグラウンドゴルフ大会

五月二十七日(日)には、スポーツに親しむ機会や村民どうしの交流の場を提供しようと、公民館と老人クラブが共催でグラウンドゴルフ大会を開催しました。はじめにグラウンドゴルフ協会の方から技術指導をしていただき、八ホールのラウンドを行いました。海の見えるすばらしいロケーションにあるふれあい広場のコースで、参加した村民二十五名は和気あいあいと交流を深めていました。



あまり聴くことができない和楽器の生演奏はとても印象深いものでした。

村の話題

井田眞理子さん知事表彰受賞 ～島根あいてい達者～

十二月十四日、島根県庁知事室において、平成二十三年度「島根あいてい達者」の知事表彰を仁夫地区の井田眞理子さんが受賞されました。

島根県では、高齢者の方々をはじめとする県民の皆さんのIT活用に向けた意欲を喚起するため、平成十四年度からITの活用に熱心に取り組む高齢者の方を「島根あいてい達者」として顕彰しています。本年度においても個人七件と団体三件の応募があり、選考委員会において地域のIT化への貢献やITの活用状況等の観

点から審査・選考し、四名と一団体が表彰されました。井田さんは、ホームページやブログなどで地元風景や伝統芸能などを情報発信されていることが認められたものです。あらためて敬意を表します。

今後とも知夫村の情報発信にご協力のほど、よろしくお願いたします。



笑庵一周年記念大会開催

去る六月二十六日、開発センターにおいて、笑庵の一周年記念大会が七十名の村民の皆様の参加を得、盛大に開催されました。

笑庵に通所者の方が、公共の施設やトイレ掃除、中学校の図書ボランティア、こんにやく作り、小物作りなどの日頃の活動を、スライドを用い紹介し、会場からあたたかい声援が送られていました。

そのあと、大野ごさいな理事長さんが、『二年を振り返って』と題した講演の中で笑庵の成り立ちと、設立前や現在の苦労話を話され、引き続きの住民の支援協力をよびかけられていました。

また、松江市在住の「よしととひうた」による、参加者と一体となった紙芝居ライブで、楽しい時間を過ごすことができました。

今後も古海地区の皆様はじめ、村民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

村民の皆さん、ぜひ、一度、笑庵に遊びに来てください。



井田さんからのコメント

島の話題・美しい自然・と、記事にするものはないかなと、あちこちと出歩くようになりました。

“村の広報誌”に取り上げられてからは、出郷者の方々にも知られるようになり、帰省した時“ブログ見てるよ”“楽しみにしてるよ”と声かけていただき、私の大きな喜びとなり、何よりの励みとなりました。

今回、島根県の“島根あいてい達者”に選ばれ表彰されて本当に驚いています。

そのとき、一緒に表彰された私より、さらに高齢者の70歳80歳の方々が活躍されていて、私も、もう少し頑張れるじゃないかな、という気持ちになりました。

変な、お・ば・さ・ん・があちこちと出歩いています。

何処かで見かけたら「こげな所で何しちよっだ」と、声かけてくださいね。

よかったら“カフェ・まりあん”を覗いてみてくださいね。

カフェ・まりあんHP

<http://fish.miracle.ne.jp/marian/>

参加者の声

『笑庵』の活動を理解することができた。通所者の方の発表を聴き、感激した。協力できることは応援したい。



大野ごさいな理事長

発表したメンバーさんの声
予想していたより、沢山の人が来て頂いて嬉しかった。



新しい先生と役場職員の紹介



知夫村診療所
やまもと なが はる
山本長晴 先生

私は、昭和27年に海士町で生まれ、中学まで過ごしました。松江の高校を経て名古屋の大学に入り、その後34年間名古屋で内科医師として働いてきました。この度前職を定年退職し、知夫村診療所で働くことになりました。何卒よろしくお祈いします。まだまだ未熟者ですが、一生懸命頑張りますのでお気軽に何でもお話し下さい。



知夫村診療所 看護師
にしだ ひろこ
西田弘子 さん

4月1日より知夫村診療所で勤めさせていただくことになりました西田と申します。以前は松江の精神科で28年勤務していました。産んでくれた母がいて、育ててくれた家族がいて、支えてくれた仲間がいるから今の私があります。知夫村の皆さんに支えていただきながら、これからの私を見つきたいです。診療所は初めてであり、加えて島も初めてなので、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすること間違いはないですが、よろしくお祈いいたします。



郡保育所 保育士
にしむら きよか
西村清芳 さん

4月から、郡保育所で勤めさせていただくことになりました西村清芳です。久しぶりの島での生活なので、まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることと思いますが、子どもたちのために努力していきたいと思しますので、よろしくお祈いします。村内で見かけた時には、気軽に声をかけてください。



村民福祉課 保健師
たちばな ちか
橋知佳 さん

村民福祉課で保健師として赴任しました松江市出身の橋知佳です。知夫村の皆様の人情の温かさや美しい環境に惚れ込み、知夫村へやってきました。私は人前に出ると完熟トマトのように真っ赤になります。決して酔ってはいません!! よく散歩をしています。身体を動かすことが大好きなので、気軽に声をかけてください。知夫村でしか味わえない楽しさをぜひ教えていただきたいです。どうぞよろしくお祈いします!!

- | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 奥谷 久子 (96) | 仲瀬 義臣 (96) | 大上トキ子 (94) | 松下ツタ子 (92) | 小新 勝久 (68) | 隠木イシ子 (86) | 杉本 鐵吉 (87) | 渡部 千代 (87) | 秋月 元枝 (87) | 崎 ヨシ子 (89) |
| 来居 | 薄毛 | 古海 | 仁夫 | 薄毛 | 多沢 | 大江 | 大江 | 大江 | 郡 |

やすらかに
心からおくやみ申し上げます

向濱 龍
保護者 向濱 博久

おすこやかに
お誕生おめでとうございます

鹿島 健
三澤 仁子
郡 埼玉県

いご結婚
おめでとーいございます

戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)
平成23年12月1日〜平成24年6月30日届出分

ありがうございます

金一封をいただきました。ありがとうございます。

広報郵送料

上原 善松 (豊中市)
城谷 寿子 (福岡市)
辰巳会 代表
木下 孝 (姫路市)
山 弥一 (北九州市)
前川 満 (神戸市)
山本 春知 (東京都)
匿名希望 一名

ふるさと知夫寄附金 (二十三年度分)

吉本 満広 (北九州市)
井田 進 (大阪府)
宿 信義 (尼崎市)
菊地 純一 (東大阪市)

編集後記

今年の冬も積雪が何回もあり、近年では寒い冬でした。おまけに四月三日爆弾低気圧により、家屋、漁船等に被害がありました。その加減でしょつか、今年は、梅、枇杷等、春に実をつける樹木が全く不作でありました。梅雨に入り、雨がそんなに降らなかつた気がします。今年も各地で集中豪雨のニュースをテレビでよく見ました。被害にあわれた方々が早く普段の生活に戻れることを願っています。最後に原稿を寄せられた皆様有難うございました。(崎)

直通電話〇八五一四一八九〇三三

E-mail: chisen@chibu.jp

知夫里野大根祭り

4月21日（土）、2年ぶりに知夫里野大根祭りが行われました。

最初は仁夫里浜公園において、6月に知夫村で行われる隠岐郡畜産共進会に出場する牛を決める知夫村の予選が行われました。それから、場所を知夫小中学校の体育館ピロティに移し、保育所、小中学生、一般住民らによるステージ発表が行われました。

また、屋台販売、餅撒き、豪華賞品が当たる抽選会が行われ賑やかに春の1日を過ごしました。

知夫里野大根祭り



平成24年度 隠岐郡畜産共進会

- 期日：平成24年6月8日（金） 午前9：00～
- 会場：仁夫里浜公園特設会場
- 出品

区分	農協名	隠岐どうぜん				合計	
		隠岐	黒木	浦郷	知夫		海士
1区		2	3	3	1	3	12
2区		5	1	1	4	1	12
合計		7	4	4	5	4	24

●表彰：グランドチャンピオン「つねひかり」号（井尻義教氏）
上記「つねひかり」号は10月6日島根県畜産共進会へ出品



グランドチャンピオン「つねひかり」号